

団地イベントピックアップ！	4
私もだんち特派員	5
ボディメンテナンス講座／くらしの知恵	6
かんたんヨガ／防犯・防災知識	7
簡単おうちレシピ／プレゼント	8

編集・制作 ㈱高速オフセット

団地
de
ミッケ!

震災から30年。 ふれあいと復興の絆

HAT神戸・脇の浜
(神戸市中央区)

西大和片岡台
(奈良県北葛城郡)

毎回テーマを決めて、団地生活の魅力を紹介する「団地deミッケ」。4月号はHAT神戸・脇の浜と、西大和片岡台で開催された防災イベントに参加しました。世代や国を超えて、皆で安全な団地生活を築いていくURの取り組みから二つの防災活動を紹介します。



HAT神戸・脇の浜



西大和片岡台



URが取り組む 防災と多文化共生

阪神・淡路大震災から30年目の1月17日、HAT神戸・脇の浜で震災30年メモリアルイベント「未来へつなぐふれあいと復興の絆」が開催されました。昨年、防災コミュニティ活動の場となるように、URがかまどベランチやマンホールトイレなどを整備して改修した「けやき広場」を会場に、主催者の「脇の浜ふれあいのまちづくり協議会」がかまどベランチを使用して炊き出しを行い、「1・17ひょうごメモリアルウォーク2025」の参加者や会場を訪れた方に温かい豚汁が振るまわれました。またマンホールトイレなどの災害用設備の展示や、別会場では地域の方々が持ち寄った写真やなぎさ小学校児童のメッセージの展示なども行われ、震災後の暮らしや復興に思いを馳せるとともに、改めて防災の意識を高めました。

自治会と外国人居住者の皆さんの交流会も開かれ、炊き出しの料理に加えて、インドネシアの皆さんからインドネシア式のチキンソーセージや揚げバナナなどが振るまわれ、笑顔あふれる交流の場になりました。皆さん明るくて楽しい人。日本での生活に困ったら相談してほしい」と自治会の方は話してくれました。「地震が起こったと思うと不安ですが、今日学んだことを生かして、落ち着いて行動できれば」とインドネシア出身の参加者は話してくれました。

西大和片岡台でURグループ（UR・URコミュニティ・日本総合住宅生活）と自治会等地域関係者が協力して、団地内交流を深めながら防災について学ぶ「オリエンタル炊き出し&防災イベント」を開催しました。外国人居住者を含め120人以上が参加し、インドネシアの焼き鳥チキンサテやベトナムの炊き込みご飯コムタイクームなど多国籍料理の炊き出し、仮設トイレ、リレーといった体験型ブース、防災備品の展示などが行われました。



水漏れ・断水・停電などのトラブルがあった場合
24時間緊急事故時の連絡先

緊急事故受付センター

☎0570-004-001
(または ☎06-6969-2151)